



やさしさ 勇気 喜び そして 夢

タカラッキー

<http://www.ueis.ed.jp/school/takaragi/>

宝木小学校だより 第22号
令和7年 3月3日発行

(発行者 室田 和宏)

6年生を送る会 ～ “お互いの “ありがとう” ～



1年間で最も感動的な行事の一つ、6年生を送る会。児童会、特に5年生が中心となって、お世話になった6年生に「ありがとう」の気持ちを伝えるために、懸命に準備を行います。本校ではタカラッキー班（縦割り班）での異年齢集団活動を大切にしていますので、前半は各班ごとにチームを組んで、オンラインの自作クイズで競い合う活動でした。1年生から6年生までみんなが参加できる工夫が満載、6年生担任に関するクイズなども出題され大いに盛り上がりました。6年生からの贈り物は“カイト”の合唱。凜とした場内に響く歌声は聴衆の心に届き、たくさんの瞳に感動の涙が光っていました。在校生全員による合唱“世界がひとつになるまで”はサプライズで先生楽団が登場して伴奏し、笑顔がはじけました。冒険活動教室を経て一回り大きくなった5年生を筆頭に、在校生からは宝木小の伝統を引き継ぐ覚悟が、6年生からは後輩たちへの思いやりが伝わりました。毎年、このような素敵な行事を味わえる“教師”という職業の素晴らしさを実感するひとときでした。



冒険活動教室 5年生 2/5～7

この冬一番の寒波が到来したこの時期、5年生は冒険活動教室に出かけました。イニシアティブゲームで仲間との協力を体験的に学び、キャンドルファイヤーでは実行委員を中心に、創意あふれる楽しい活動を繰り広げていました。「冒険活動教室というストーリーをみんなで作り上げてくるんだよ！」と送り出しましたが、最上級生への進級目前、大切なことをたくさん学び、ひと回りたくましくなって帰ってきました。



感謝の会・タイムカプセル閉絨式 6年生 2/20

本校校庭の西側にはカプセルの丘があり、歴代卒業生のタイムカプセルが8年分眠っています。PTAのご尽力で平成2年から36年間続いている本校の特色ある行事。今年の6年生は、将来の自分にどんなメッセージを送ったのでしょうか。準備をしてくださった皆様、ありがとうございました。

